

Ⅱ 枚方市駅周辺再整備事業の財政シミュレーションについて

1. 政策等の背景・目的及び効果

現状における④⑤街区のまちづくりの検討状況を踏まえた枚方市駅周辺再整備事業について、長期財政の見通しをもとに、長期的な視点における財政面からの実現性を明らかにするものです。

2. 内容

枚方市駅周辺再整備事業に係る財政シミュレーション（別紙4）

3. 今後の主な予定

令和4年9月 9月定例会議会（枚方市基金条例の一部改正）

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画

計画の推進に向けた基盤づくり

計画推進3 持続可能な行財政運営を進めます



枚方市駅周辺再整備事業に係る財政シミュレーション

今回シミュレーションを行うにあたっての前提条件

1. 令和3年度決算及び令和4年度6月補正までを反映
2. ②街区の工事費高騰及び④⑤街区の区域拡大及び工事費高騰を見込む

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
(1) 収支見通し															
歳入	総額	1,931	1,668	1,640	1,477	1,493	1,472	1,466	1,503	1,441	1,426	1,487	1,423	1,436	1,445
市税	収入	562	557	561	567	559	558	557	550	549	548	540	538	536	528
地方消費税	交付金	79	86	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82
市債	うち臨時財政対策債	149	132	149	137	155	132	117	123	97	89	110	95	99	86
地方交付税		126	153	124	122	126	127	128	131	132	132	136	134	135	136
国・府支出金		887	615	568	447	443	449	452	447	449	449	451	453	455	457
その他		128	125	156	122	128	124	130	170	132	126	168	121	129	156
歳出	総額	1,896	1,627	1,618	1,456	1,474	1,456	1,449	1,488	1,425	1,411	1,472	1,407	1,421	1,430
義務的経費		780	890	831	843	846	863	867	868	867	876	876	862	871	869
	人件費	213	208	213	215	210	218	205	209	204	206	202	195	199	194
	扶助費	466	573	503	507	517	522	528	530	533	536	538	541	544	547
	公債費	101	109	115	121	119	123	134	129	130	134	136	126	128	128
投資的経費		191	161	189	158	156	124	108	125	101	72	101	87	85	106
補助費等		569	159	165	129	135	139	137	137	139	138	139	137	139	138
繰出金		139	143	145	147	149	151	153	154	155	156	157	157	157	157
物件費		164	221	248	147	144	143	141	141	141	141	141	141	141	141
その他		53	53	40	32	44	36	43	63	22	28	58	23	28	19
実質収支		17	25	22	21	19	16	17	15	16	15	15	16	15	15
単年度収支		0	8	▲3	▲1	▲2	▲3	1	▲2	1	▲1	0	1	▲1	0

(参考) 枚方市駅周辺再整備による市税への増収効果を見込んだ場合の収支見通し

※市税効果(40億円/20年間)…土地利用による固定資産税、都市計画税及び新たな居住者による市民税を試算

市税効果額	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2
実質収支	17	25	22	21	19	16	18	16	18	17	18	19	19	19	19

財政調整基金残高	127	136	124	125	124	117	113	112	108	102	96	92	86	79
減債基金残高	44	54	56	49	45	41	31	28	26	22	17	22	24	21
新庁舎及び総合文化施設整備事業基金	51	61	60	59	66	65	71	85	63	58	78	60	48	8
地方債残高	1,110	1,137	1,175	1,199	1,235	1,244	1,231	1,228	1,207	1,160	1,148	1,114	1,097	1,057

(2) 財政指標

	(%)														
実質公債費比率	▲0.4	0.0	0.5	1.2	1.6	2.0	2.7	3.2	3.5	3.4	3.7	3.6	3.4	3.3	
将来負担比率	▲25.1	▲25.9	▲29.0	▲27.0	▲27.3	▲24.0	▲23.5	▲24.4	▲19.7	▲16.5	▲16.6	▲13.3	▲10.1	▲1.0	
経常収支比率	95.7	92.3	95.1	95.7	95.8	97.7	96.3	97.5	96.8	98.1	98.2	98.0	98.1	98.6	
地方債残高比率 ※2	139	137	150	152	157	159	157	157	154	148	147	143	141	136	

※実質公債費比率の早期健全化基準25%、財政再生基準35%。将来負担比率の早期健全化基準350%。

※2 地方債残高比率=地方債残高÷標準財政規模×100：地方債残高比率は200%を越えると財政運営が厳しくなるとされている。

(3) 外部有識者による評価（追手門学院大学 細井教授）

総合評価

財政調整基金残高については減少傾向にあるが適切な基金残高が維持されていること、将来負担比率についても上昇傾向にあるがマイナスが維持されることなど、財政運営においてチェックすべき基金額の規模、将来負担比率の2点で重大な問題が生じない結果であることから、現時点における財政シミュレーションからは、今後の枚方市の財政運営に支障をきたすようなことは見受けられないと評価します。

今後の注視すべきポイント

中長期の財政の見通しや将来の財政状況の予知は困難です。今後の社会経済の状況によっては、それらは大きく変動する可能性もあることから、以下の点については継続して注視すべきだと考えます。

- 基金残高の減少の背景に大型建設投資以外の要因がないかを常に疑うことが大切です。具体的には一般財源を用いた行政サービスが過大なものになっていないか、注視が必要です。
- 地方財政改革によりこれまでの国による財源保障が続かなかった場合においても、柔軟に対応できる財政力が確保されているかどうか、注視が必要です。
- 物価高騰の行方が不透明であることから、財政運営に余裕を持たすための、基金残高の確保ができているかどうか、注視が必要です。

(4) その他

「新庁舎及び総合文化施設整備事業基金」について、総合文化施設の整備が令和3年度に完了したため、本基金を市駅周辺再整備全般に活用できる基金へ改正（9月定例会月議会へ枚方市基金条例の改正案を提出予定）